

はしがき

本書は、日本政治外交史を履修する学生のために作成した資料集である。2015年に第2版を刊行した『資料で学ぶ国際関係』の姉妹編にあたる。『資料で学ぶ国際関係』の初版に収めていた歴史に関する資料の多くを本書に移すとともに、大幅に資料を追加することによって独立した資料集にすることにした。

本書のような資料集を作成したのは、国際関係論や政治学の教育において、歴史教育の重要性と関心が高まってきているためである。日本が現在直面する多様な外交的課題に関しても、背景となる歴史を理解しておかなければ問題の意味を考察することすら難しい。アジア諸国との「歴史問題」といわれるものや、日本の外交政策の展開についても、過去の経緯を知っておく必要があるのである。

歴史を学ぶときには、教師の説明だけでなく、さまざまな資料に触れることによって理解が深まる事項が多々ある。しかしながら、高校までの歴史教育の現状では、大学進学者の歴史に対する知識がきわめて乏しいのも現実である。大学教育課程で歴史分野を担当する教員は、高校との「つなぎ教育」を意識した初歩的事項から講義を行うことも珍しくない。したがって、高校までの歴史教育で示されるべき資料も含めたさまざまな資料の活用が必要になってくる。しかしどのような資料を提示するかは教員次第であるし、大学教員の仕事が加速度的に増加している現在、授業に使用する資料を準備することもままならない場合すらあるのである。そこで、日本の近代から現在にわたる長い期間をカバーし、授業に必要なかつ有益な資料に解題を付して配置したのが本書である。

これまでも日本政治外交史に関する資料集はいくつか刊行されている。しかし徳川幕府時代から現在までもカバーし、国際政治にも配慮した資料集は本書が初めてではないだろうか。また本書は、戦前編と戦後編に同等の分量を充てている。それは戦前期の、とくにアジアとの関係が戦後の日本外交にも影響していることから、戦前期を学ぶことの重要性が一層高まっているからであり、戦後の日本外交は高校までの授業で学ぶことが少なく、資料で学ぶこと自体が

貴重であるという理由による。多くの学生や教員によって本書を利用していただき、日本政治外交史に対する理解を深めていただくことを、著者一同、心から期待している。

2016年秋

著者を代表して 佐道 明広